

2016年1月19日～2025年9月30日の間に 心臓血管外科において腹部大動脈瘤の治療を受けられた方へ

—「ヒト腹部大動脈瘤での蛋白発現の研究」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

研究機関長 研究科長 成瀬 恵治

研究責任者 岡山大学学術研究院医歯薬学域 CKD・CVD 地域連携包括医療学
教授 内田 治仁

研究分担者 岡山大学学術研究院医歯薬学域
心臓血管外科学 教授 笠原 真悟
岡山大学学術研究院医歯薬学域 腎・免疫・内分泌代謝内科
助教 竹内 英実

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

腹部大動脈瘤は予防方法の見つかっていない病気であり、治療方法は外科的な手術のみです。そこで今回は成人患者の腹部大動脈瘤の一部を手術時に切り取ったものを顕微鏡などで調べます。それにより、病気の成り立ちを調べ、病気のなりにくさや進行を遅らせる方法を探ります。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

腹部大動脈瘤の成り立ちを調べる事により、将来の医療の進歩に貢献できる可能性があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2016年1月19日～2025年9月30日の間に岡山大学病院心臓血管外科において腹部大動脈瘤の治療を受けられた方10名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2026年3月31日

3) 研究方法

2016年1月19日～2025年9月30日の間に当院心臓血管外科において腹部大動脈瘤の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに研究に適したデータおよび試料を選びます。そして、試料にどの種類の蛋白質が含まれているかについての分析を行い、腹部大動脈瘤の成り立ちについて調べます。

4) 使用する試料

この研究に使用する試料として、すでに保存されている腹部大動脈を使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、診断名、既往歴、病歴

7) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後10年間、岡山大学第三内科研究室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学学術研究院医歯薬学域 CKD・CVD 地域連携包括医療学

氏名：内田 治仁

電話：086-235-7235（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-222-5214